



# 子育てチャンネル

## す〜く簡単！ 夏休みの宿題・解決とコツ

八月に入り夏休みもそろそろ後半に。夏休みといえ、ば、「ぼーっ」と過ごしているうちに終わってしまい、始業式の前日に泣きながら絵日記を書いたことを思い出します。

母に叱られながらクレヨンで描いた七夕の絵…。こんな思い出、できれば作りたくないですね。そこで、これからでも間に合う夏休みの宿題の定番、工作と自由研究の本をご紹介します。

まず工作。「何をつくればいいのか？」と迷っているお友達には、『ごども工作大集合！アイデアいっぱい266てん改定版』（レイブティックシリーズ、ブティック社）がお勧め。牛乳パックやペットボトルという身近な材料から、貝殻や小枝を使った作品まで、合わせて266点もの作り方が紹介されています。きつと作りたいものが見つかります。

『きむらゆういちのエコ工作えほん・全3巻』（きむらゆういち著、ポプラ社）は、材料別に紹介されていて、楽しいイラストや写真で分かりやすい内容になっています。

もしお小遣いに余裕があるなら『100円グッズでできる工作&実験ブック工作編/遊具編』（工作実験工房著、理論社）。お友達がびっくりするような作品が作れるかも。ほかに手芸や裁縫の本もありますよ。フェルトでかわいいマスコットを作ってみませんか？

「工作はなんとなく苦手」「もっと上手につくりたい」というお友達には、『コツがわかる！工作のきほん全4巻』（寺西恵理子著、汐文社）はいかがでしょう。いつも何気なく使っているはさみやのりの方のちよっとしたコツが分かっています。

次は自由研究。「自由研究さえなければ楽しい夏休みだったのに」と子ども時代を思い出す保護者の方もおられるのではな



いでしょか。

そもそも、研究したいことをどうやって見つければいいのか？ そんな時は『おとうさんが教える自由研究の書きかた』（赤木かん子著、自由国民社）、『ジブン系自由研究アイデア51』（福井直秀著、かもがわ出版）がお役に立ちそうです。テーマ

の見つけ方からまとめ方まで分かりやすく丁寧に書いてあります。

『夏休み自由研究差がつく！小学3・4年生/小学5・6年生』（昭文社）、『おまかせ自由研究&調べ学習』（朝日小学生新聞編集部著・編、朝日学生新聞社）には具体的な観察や実験のヒントがたくさん詰まっています。

自由研究の醍醐味は、興味がどんどん広がっていくこと。図書館の本の背中には、数字を書

いたラベルが張ってあります。数字は本の内容を表している「分類番号、本の住所」です。

同じ内容の本は同じ場所（住所）に並んでいます。例えば「ひまわり」は「470、植物」、「かぶとむし」は「486、昆虫」。虫の好きなお友達は、「486、昆虫」の本の棚からおもしろそうだな、と思った本を一冊手に取ってみてください。きつと新しい発見があるはず。そんな新しい発見を絵に描いたり、文章にまとめれば、ほら！自分だけの自由研究が始まります。もつと知りたいことが増えたら、専門家からお話を聞けるところに足を運んでみるのもいいですね。

残りわずかな夏休み、宿題をさつと片付けて、たつぷり遊んで楽しんでください。図書館にそんなお手伝いができたらうれしいです。

さあ、夏休みの一日、ご家族で交流館へどうぞ。

文化交流館

司書 藤原 恵利